

# もへの取り組み

## み



女性の心身の悩みに寄り添う活動をサポートすることで、女性が前向きに力を発揮し輝ける社会を目指しています。

# るへの取り組み

## 組み

高齢者が充実して過ごせることは、希望ある社会を形成する上で大切なこと。  
私たちは、世代間の交流や共生をテーマにした活動を支援しています。



## 4つのプログラム

ジョンソン・エンド・ジョンソンの社会貢献活動のテーマは「健康」です。  
この「健康」とは医学的な病気の有無だけを指しているわけではありません。  
人の心、そして社会そのものが健康であることを目指して活動を進めています。

私たちは「子ども」「女性」「こころ」「高齢者」の4つのテーマを中心にして、  
様々なプログラムを実施・支援しています。

## 社会全体で子どもたちを

子どもたちの健全な成長のために

「社会の宝」である子どもたちが、安全に、そして健全に成長することを願い、私たちJ&Jは活動を続けています。

乳幼児の死亡理由で最も多いのは「不慮の事故」です。子どもを取り巻く大人

が事故予防の知識を得ることで、命を落とす子どもの数を減らすことができないかと考えています。

そして成長していく子どもたちが、自分で考え、自分の責任で物事を決め、困難

### 10代を対象としたHIV/AIDS予防啓発



国内のHIV/AIDS感染者数は年々増加し、感染者の2割を占める若年層（10代～20代）への予防対策が特に必要とされています。正しい知識の普及・啓発を目的に、エイズ予防財団が運営する「ティーンエイジャーを対象としたHIV/AIDS予防啓発活動助成」を支援しています。

支援団体

財団法人 エイズ予防財団  
URL: <http://www.jfap.or.jp/>

### 自殺対策に向けたネットワークの構築

さまざまな理由により自殺へと追い込まれていく方は年間3万人以上に上ります。自殺対策を「生きる支援」と捉え、自殺のない「生き心地の良い社会」の実現をめざして、法的枠組みを整えるとともに、対策のモデル作り、啓発活動や関係者のつながりづくりに力を注いでいます。



支援団体

特定非営利活動法人 自殺対策支援センター ライフリンク  
URL: <http://www.lifelink.or.jp/hp/top.html>

### 生きることに悩む人々の心の声を聞く

深い悩みや苦悩があるにもかかわらず、社会とのつながりを見出せず、心の叫びを誰にも受け止めてもらえないまま自殺を選択してしまう方が少なくありません。絶望している人々の訴えを聞き、支えを提供することを目的に、電話相談をはじめとする多くの活動に取り組んでいます。



支援団体

特定非営利活動法人 国際ビフレンダーズ  
東京自殺防止センター  
URL: <http://www1.odn.ne.jp/~ceq16010/hp/top.htm>

## ジョンソン・エンド・ジョンソン社会貢献委員会

ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社（メディカル カンパニー、コンシューマー カンパニー、ビジョンケア カンパニー）、  
オーソ・クリニカル・ダイアグノスティクス株式会社、ヤンセンファーマ株式会社、  
共同でジョンソン・エンド・ジョンソン社会貢献委員会を結成し、  
各グループ企業から参加する社員が中心となって活動を推進しています。

# 守る

を乗り越えていけるスキルを身につけられるような教育を広げていくことで、青少年を含めた子どもたちを少しでも支えていきたいと思ひます。

## 親子応急手当大会 乳幼児事故防止セミナー

AEDの普及により、応急手当への関心はますます高まっています。応急手当の普及啓発と、命の尊さを学ぶ機会として、小さい子どもと保護者を対象に心肺蘇生や怪我の手当などを体験する親子大会を開催しました。また、子どもの事故防止と、その対応について身につけるセミナーを保育士・保育サポーターなどを対象に行っています。



支援団体 公益財団法人 東京救急協会  
URL: <http://www.teate.jp/>

## 親学習プログラム

地域のつながりの希薄化や核家族化により母親だけが子育ての責任を負うことになった結果、虐待につながる例があります。育児不安を解消し、虐待を減らすための「スター・ペアレンティング(親学習)」プログラムを普及するため、ファシリテーター養成講座を開催しています。

支援団体

特定非営利活動法人  
女性と子どものエンパワメント関西  
URL: <http://www.osk.3web.ne.jp/~videodoc/>

## 女性のこころのケアプログラム

ドメスティック・バイオレンス(DV)、虐待、モラルハラスメント、パワー・ハラスメントの被害にあう女性は毎年かなりの数に上ります。当事者だけでなく、その支援者、教育関係者などを対象にこれらの問題について考え、学ぶ講座を開催しています。また、講座のファシリテーター養成にも力を入れています。



支援団体 NPO法人 レジリエンス  
URL: <http://www.resilience.jp>

## 音声で必要な情報を提供

活字メディアによる情報収集が困難な視覚障がい者は、日常生活に必要な情報が不足がちです。そのような情報弱者からの音声情報がほしいという声に応えたウェブサイト「声の花束」ではJ&J社員が音訳に参加しました。

支援団体

声の花束 <http://www.koetaba.net/>  
支援団体:公益社団法人 日本フィランソロピー協会  
URL: <http://www.philanthropy.or.jp/>



## こころへの取り組み

こころサブコミッティ リーダー  
オーソ・クリニカル・ダイアグノスティックス(株)

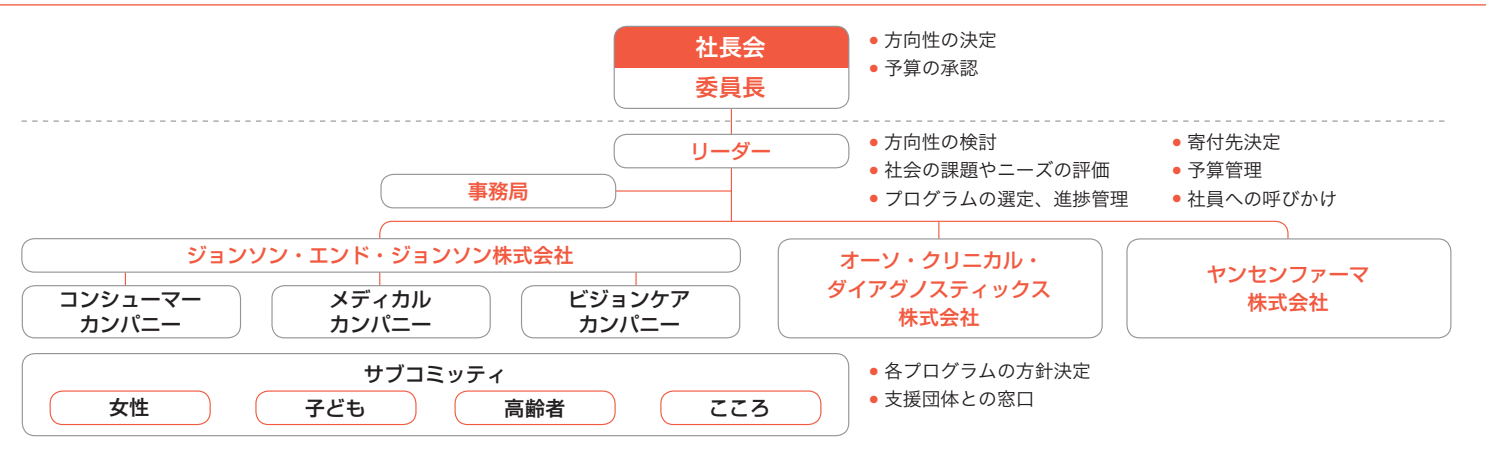
# こころもからだも健康でいら

## こころの問題とまっすぐに向き合う

日本の社会の中で顕在化しづらい問題、それがメンタルヘルスだと思ひます。自分だけでなく、相手のこころも大切にできる社会を目指し、どのようなテーマに取り組むことができるかを話し合っています。日本人の年

間自殺者数は12年連続で3万人を超え、大きな社会問題となっています。私たちは、自殺対策の推進と自死遺族へのサポートに取り組んでいます。

また、適切な治療だけでなく地域におけ



## 子どもの事故防止活動

1960年以降、子どもの死因の第一位は不慮の事故・事故死であり、子どもの生命や健康をおびやかす最大の危険といえます。救急の日(9月9日)には、子どもの事故防止の一助となることを目的に、発達段階に応じた具体的な事故防止方法の学習会や講演を行っています。



支援団体 財団法人 日本児童家庭文化協会  
URL: <http://www.kidsfirst.jp/>

## 暴力の影響を受けた子どもたちの心理ケアプログラム

ドメスティック・バイオレンス(DV)の影響を受けた子どもたちは、こころの傷のために対人関係や自我の形成に問題を抱えることが少なくありません。その傷の回復を図り、暴力の連鎖を食い止めることを目的に、ケアプログラムの実施をはじめインストラクターの養成に力を入れています。



支援団体 女性ネットSaya-Saya  
URL: <http://www7.plala.or.jp/saya-saya/>

## 女性の健康情報サイト

女性ならではの病気に悩む方のために、女性の健康に関するウェブサイト「ウーマンズヘルスウェブ」の運営支援などを行っています。このサイトは「声の花束」活動により音声情報が提供されています。



支援団体 ウーマンズヘルスウェブ <http://jfpa.info/wh/>  
支援団体: 社団法人 日本家族計画協会  
URL: <http://www.jfpa.or.jp/>



大塚一郎

## れる社会を目指して

る理解と支援が必要な統合失調症や発達障がいの当事者と家族の方々へのサポートに力を入れています。

## ADHDの子どもと保護者の支援プログラム

ADHD※による行動が周囲から理解されないために、社会生活に困難をきたす子どもや両親がいます。ADHDの小学生を対象にしたプログラムや、子育てに悩む親をサポートする「ソーシャルスキルトレーニング(SST)」の普及をサポートしています。

支援団体 NPO法人 えじそんくらぶ  
<http://www.e-club.jp/>

※日本では約5%の子どもがADHD(注意欠陥/多動性障害)と言われています。新しく認められた障がいのため、日常生活での適切な対応方法は確立されておらず、多くの子どもが困難を抱えています。



## 高齢者への取り組み [ 高齢者サブコミッティ リーダー ヤンセンファーマ(株) 星和弘 ]

## 世代を超えた交流が活発になるために

### 大切な知恵を伝えてほしい

核家族化が進む日本では、孤独を感じながら暮らしている高齢者の方が少なくありません。豊かな経験と知識を持つ高齢者の方が、若い世代と語り合い、交流を深め、その貴重

な財産を次世代へ伝えていく場があれば、自分自身の人生もまだまだ価値あるものだと再認識していただくことができるはずです。今後ますます高齢化が進む中で、世代間交流

「寺子屋回想法」という手法を用いて交流の場を提供し、何歳になっても輝く場所のある、希望に満ちた社会づくりに貢献できればと思います。



## 思春期のライフスキル教育プログラム

友だちや家族との関係、タバコやドラッグへの誘惑など思春期にはさまざまな困難に直面します。青少年が自分自身の力でその困難を乗り越える力を身につけるため、ライオンズクエスト「思春期のライフスキル教育」プログラムの実施を主に小中学校の教育関係者を対象に働きかけています。

支援団体

特定非営利活動法人 青少年育成支援フォーラム  
URL: <http://www.jiyd.org/>



## 女性への取り組み [ 女性サブコミティ リーダー オーソ・クリニカル・ダイアグノスティックス(株) 森香奈子 ]

# 女性がいきいきと活躍できるように

### 女性が安心して暮らしていける社会に

女性だからという理由で多くのことに悩まされるのではなく、女性であることを楽しみ、安心して活躍できる社会であることが理想です。虐待などに走らず、余裕を持って子育てができるようになるための親学習

や、女性特有の疾患に関する知識を深めて安心して暮らしていくための情報提供、暴力の被害にあった女性がつらい経験を乗り越えて自分らしく生きていくためのサポートなどを行っています。

また、性への興味や行動の入り口の時期である10代を対象としたHIV/AIDS予防啓発活動にも取り組んでいます。

## ADHDの子どもたちへの集中プログラム

ADHDの小学生が、社会的に望ましい行動を習得・実践できるようになることを目的に、医療の専門家や臨床心理士が主催する集中治療プログラムの開催をサポートしています。



支援団体

特定非営利活動法人 くるめSTP  
<http://kurume-stp.org/>

## 統合失調症の家族による家族学習会の推進

精神障がいを持つ方とその家族が主体的に生きていける社会を目指し、統合失調症など精神疾患の患者を持つ家族が講師となり、他の患者家族に知識と体験を伝える「家族による家族学習会」の普及を支援しています。同じ困難を共有する当事者同士の交流の場として貴重なものとなっています。



支援団体

特定非営利活動法人 地域精神保健福祉機構 (COMHBO)  
<http://comhbo.net/>



## 世代間交流「寺子屋回想法」

高齢者と若い世代が語り合う場を設けることは、高齢者にとって自身の人生が価値あるものと再認識でき、自尊心の向上につながります。一方、若い世代にとっては人生の先輩から大切なことを学ぶ機会になります。この「寺子屋回想法」を全国展開するため、ワークショップを開催しています。



支援団体

上智大学総合人間科学部 老年心理学研究室